



芦田地域づくり計画書

(2026年4月改訂版)



(1) 地域づくり計画とは ～これまでの歩みと、新しい一歩～

芦田自治振興会が生まれて20年。これからの指針として「地域づくり計画」を策定しました。

地域の人たちの笑顔を増やすためにさまざまな活動を続けてきましたが、人口減少や暮らし方など、地域を取り巻く状況は日々変わっています。

これからの芦田に合った計画にしようと、住民アンケートや会議での話し合いを重ね、たくさんの「声」を集めて、この地域づくり計画（改訂版）を作りました。

(2) 計画の趣旨・目的 ～すべての活動の道しるべとして～

この計画は、誰かから与えられるものではありません。

私たち一人ひとりが「こんな芦田にしたい！」という未来の姿（理想像）を描き、みんなのアイデアと力で、誰もが「住みやすい」と心から思える芦田をつくるための「道しるべ」です。

さあ、一緒に芦田の未来を創っていきましょう。

(3) 合言葉は「だしあうあしだ」～みんなで目指す10年後の芦田～

アンケートなどから、住民の皆さんが、地域にどんな「住みやすさ」を求めているかが見えてきました。

それは――

- ・ ご近所さんと気軽に集えて、「お互いさま」と支え合える安心感。
- ・ 子どもたちの笑い声が響き、地域で見守りながら育っていける安心感。
- ・ もしもの災害が起きても、みんなで助け合えるという安心感。
- ・ 「こうしたらもっと良くなる」と気兼ねなくアイデアを出し合える安心感。

そんな、安心感が重なり合う地域のことです。

こうした温かい地域をつくるために必要なこと。

それは、私たち一人ひとりが持てる「優しさ」や、一步を踏み出す「勇気」、そして、暮らしを良くするための「アイデア」を出し合うことです。

だから、合言葉は『だしあうあしだ』です。



(4) この計画は「みんなで育てる」計画です

- ・ 私たちの暮らしの変化に合わせて、みんなで話し合いながら、定期的に計画を点検、修正します。
- ・ この計画を初めて見る方も、新しく芦田地区に住み始めた方も、いつでもまちづくりに参加できます。あなたのアイデアと力を貸してください。

合言葉の「だしあうあしだ」を実現するため、4つの大きな目標の柱を立てました。これらの柱をもとに、さまざまな活動を進めていきます。

【大柱1】ひとづくり ～地域を支える「人」を育てる～

小柱 1	子どもから高齢者まで世代を超えた交流によって人を育てる。
小柱 2	誰もが気軽に意見を言えて、地域づくりに参加することで人を育てる。
小柱 3	もしものときにも支え合える人を育てる。

【大柱2】組織づくり ～みんなで動ける「仕組み」をつくる～

小柱 1	誰もが関わりやすい自治会運営を進める。
小柱 2	地域づくり計画の実現に向けた、自治振興会の組織をつくる。
小柱 3	活動成果を定期的に点検し、計画を柔軟に見直す。

【大柱3】環境づくり ～安心して暮らせる「場」をつくる～

小柱 1	孤独・孤立を防ぐ、いろいろな選択肢がある環境をつくる。
小柱 2	困りごとを「言える」・「気づける」環境をつくる。
小柱 3	「困った」と「手伝える」をつなぐ環境をつくる。

【大柱4】ふるさとづくり ～芦田の魅力を守り、伝える～

小柱 1	地域の拠点・文化を活かした交流と賑わいをつくる。
小柱 2	地域資源（農地、山林、空き家など）を活かし、次世代へつなぐ。



03 ～「だしあうあしだ」に向けて、私たちが取り組むこと～

目標の柱をもとに、具体的に何をするかをまとめました。

重点事業 目標の柱		すぐやる 					
		① 運営組織の検討	② SNSの活用	③ だしあうバンク	④ 若者会議	⑤ お祭り事業	⑥ 健康づくり事業
ひとづくり	世代を超えた交流					●	
	地域づくりへの参加	●			●		
	支え合える関係			●			
組織づくり	関わりやすい自治会	●			●		
	計画の実現体制	●	●	●	●		
	柔軟に対応する運営				●		
環境づくり	孤立を防ぐ選択肢		●				●
	言える・気づける環境				●		
	助け合いの仕組み			●			
ふるさとづくり	拠点・文化の活用		●			●	●
	地域資源の継承	●				●	

核となるのは、新しい計画のキーワード「だしあうバンク」。
知恵や技術など、みんなが持っている様々な「○○」を出し合い、助け合う
新しい仕組みづくりに挑戦します。
たくさんのユニークな活動アイデアは【資料編】で紹介します。



【そのほか】

1年目に行うこと	・この地域づくり計画を実現させていくための組織体制を検討する。
5年目に行うこと	・計画全体の中間見直しを行う。 ・必要があれば住民アンケートなどを実施する。
10年目に行うこと	・計画全体を振り返る。 ・次の10年の計画づくりを行う。

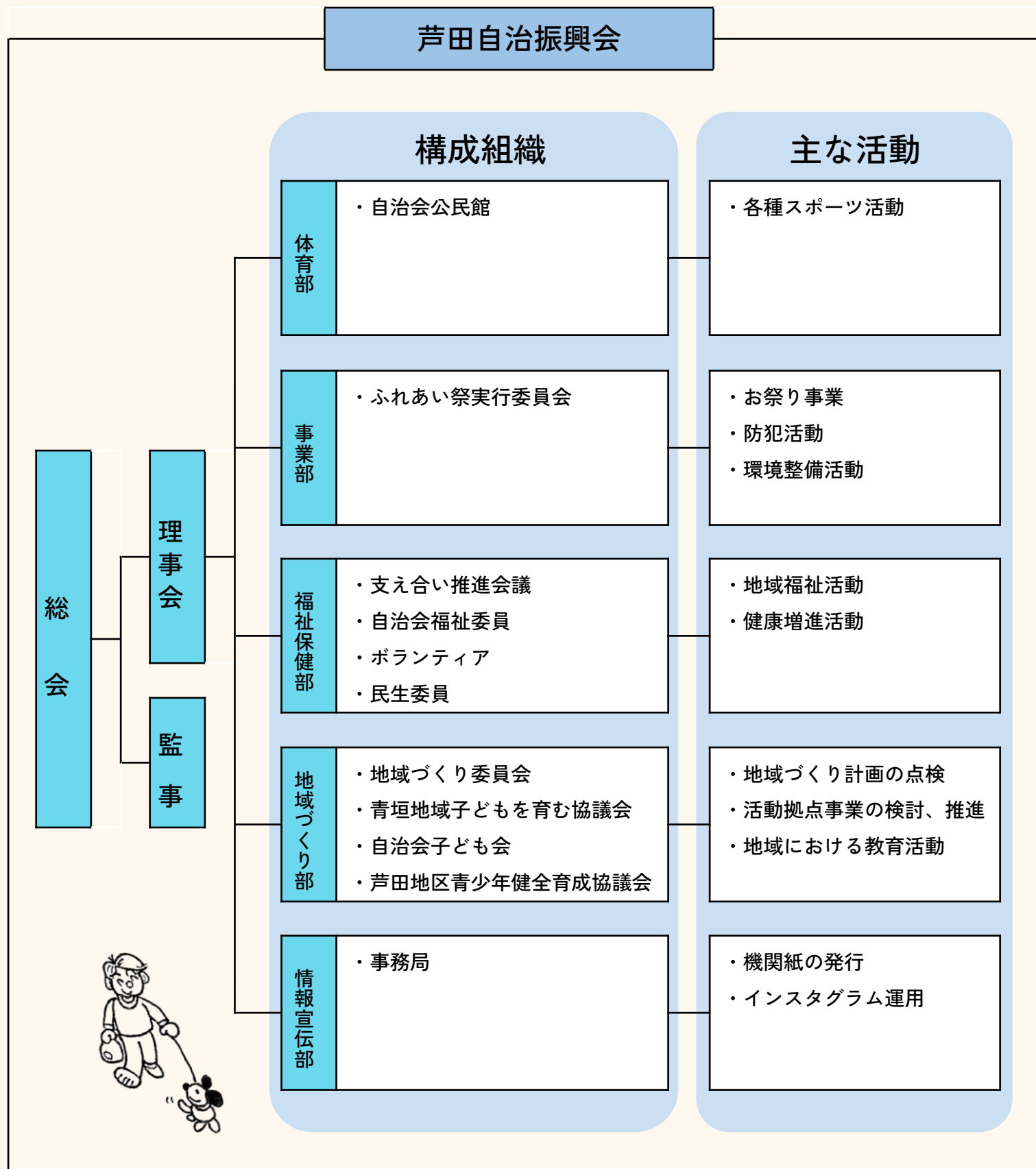


04 ～ みんなで動かすための仕組み ～



この計画は、芦田地域の住民みんなで進めていきます。
 これまでの10年は、下の体制でいろいろな活動を行ってきました。
 これからの10年で、この計画書の実現に向けて新しい体制をつくります。

<現在の体制> (2026年3月時点)





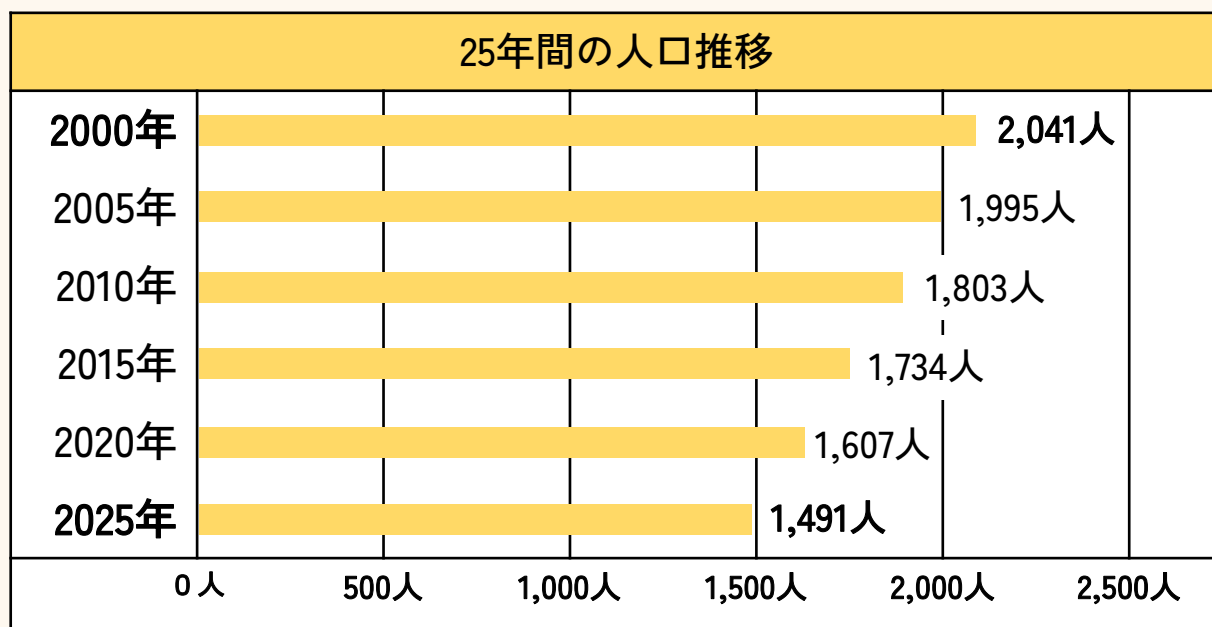
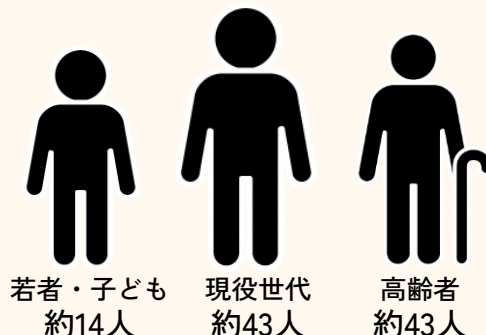
資料編

- ・ 人口推移
- ・ 計画策定のあゆみ
- ・ 事業活動アイデア
- ・ ドラえもん会議の風景
- ・ 全住民アンケート結果（概要版）

現在の芦田地区の人口構成（2025年3月時点）

人口	1,491人 【2000年と現在の比較】 －550人（－26.9%）
高齢化率 (65歳以上)	43.1%（643人）
年少人口 (19歳以下)	13.7%（204人）

芦田地区を100人の村としたら



私たちの地域の人口は、この25年間で2,041人から1,491人へと変化し、約3割（26.9%）減少しました。

特に近年の減少幅は大きくなっており、10年前（1,734人）と比較しても200人以上が減少しています。また、65歳以上の方が占める割合（高齢化率）は43.1%となり、丹波市全体の平均（35.2%）と比較しても高い水準にあります。

19歳以下の若い世代が13.7%と少ないことは、全国的な課題でもあります。私たちの地域にとっても大きな変化です。

人口減少は避けられない現実です。

ですが、これは「地域の終わり」を意味するものではありません。人数が減り、高齢化が進む中で、「今まで通りのやり方」を見直し、これからの人口規模に合った、「新しいつながり方」を作っていく必要があります。

そのために、この計画書を作りました。

計画づくりで大切にしたのは、委員だけの話し合いで終わらせないことです。全住民アンケートに加え、子どもから大人までが参加した「ドラえもん会議」を開催。「こんなことできたらいいな」という夢を語り合いました。35回の委員会と、地域の皆さんの声。その両方を重ね合わせてできたのが、この計画書です。

2024

現状を知る（全13回）

4月26日	計画見直しに向けた取組み検討
5月17日	アンケート調査内容検討
6月21日	班別協議
7月12日	アンケート方法検討
8月24日	アンケート周知の検討
9月17日	アンケート回収
10月4日	アンケート集計・グループ別協議
11月1日	各班の取組み状況報告
12月6日	アンケート調査報告会
12月12日	調査結果報告会ふり返り
1月16日	各班の取組み状況報告
2月13日	アンケート結果概要版の作成
3月13日	地域づくり計画策定に向けた体制づくり

2025

未来を描く（前半） 計画を練り上げる（後半）

5月8日	委員引継ぎ
5月13日	コアメンバー会議
5月20日	計画改定フロー共有
6月12日	委員会の趣旨説明・意見交換
6月27日	コアメンバー会議
7月3日	計画書の構成検討・役割確認
7月27日	コアメンバー会議
8月7日	目標となる小柱の検討
8月26日	コアメンバー会議
9月11日	大柱の決定・小柱の整理
10月9日	ドラえもん会議の内容協議
11月6日	ドラえもん会議の内容協議
11月11日	ドラえもん会議の内容協議
12月5日	ドラえもん会議の内容協議
12月13日	★ドラえもん会議開催★
1月8日	コアメンバー会議
1月15日	キャッチコピー検討・目標整理
1月30日	コアメンバー会議
2月5日	キャッチコピー検討・事業アイデアの検討
2月12日	コアメンバー会議
2月25日	コアメンバー会議
3月5日	計画書の全体像確認
3月20日	理事会 計画書の承認

計画策定メンバー名簿

この計画書は以下のメンバーを中心に策定しました。しかし、この計画書の本当の作り手は、アンケートや会議に参加してくださった地域の皆さん一人ひとりです。皆さんの想いを、私たちが責任を持って一つの計画としてまとめました。

【2024年度】

梅谷薫(部長) 小川庄策(委員長) 足立なおみ(副委員長) 谷田伊織(副委員長)
蘆田慶子 蘆田祥子 芦田美代子 足立秀一 足立富士子 岸田やよい 下村海 妹尾栄二 長井信広 仲野敏雄

【2025年度】

小川庄策(部長) 長井信広(委員長) 足立なおみ(副委員長) 妹尾栄二(副委員長)
芦田典之 足立恵子 足立順子 足立秀一 足立美帆 小谷菜絵 下村海 古川徳晴

【だしあう協力メンバー】

一宮祐輔(丹波市市民活動支援センター) 立石実希(地域おこし協力隊) 足立拓也・山口恭平(丹波市)
蘆田繁則さん(だしあうあしだ第1号:素敵なイラストを「だしあって」計画書を彩っていただきました。)



→ 2036

～「あんなこといいな」が詰まったアイデア図鑑～

芦田地区には、アイデアマンがたくさんいます。

会議やアンケートで出たさまざまなアイデアを紹介します。

本編の行動計画で取り組んでいく事業アイデアの「種」を紹介します。

1 運営組織の検討

～誰もが関わりやすい組織づくり～

- ・運営組織の見直し
- ・地域づくり委員会
- ・支え合い推進会議
- ・企業連携
- ・女性活躍懇話会
- ・農地の維持管理
- ・防災研修



2 SNSの活用

～地域の「今」と「魅力」を発信～

- ・SNSの活用
- ・インスタ毎日投稿
- ・あしだ公式ライン
- ・あしだマッピング
- ・若い人のスマホ教室



3 だしあうバンク

～得意を「出し合って」困りごと解決～

- ・だしあうバンク
- ・譲ります・譲れます
- ・だしあうマーケット
- ・だしあうお助け隊
- ・だしあうカフェ
- ・お困りごと相談ポスト
- ・だしあう食堂
- ・子ども食堂
- ・細見綾子の生誕地
- ・家屋の維持管理（空き家対策などの助け合い）
- ・女性の草刈り講習会（スキル習得と労働力の提供）
- ・あざみ菜漬けグループ（特技の伝承・商品化）



4 若者会議

～次世代が主役！～

- ・若者会議
- ・子どもの遊び場
- ・あしだ地区子ども会事業



5 お祭り事業

～笑顔が集まる地域の絆づくり～

- ・お祭り事業
- ・ふれあい祭
- ・とんど祭
- ・あしださくらマルシェ



6 健康づくり事業

～いつまでも元気！体と心の健康づくり～

- ・健康づくり事業
- ・芦田ふれあいサロン
- ・男性の料理教室
- ・AED講習・マップ
- ・健康ウォーキング
- ・いきいき百歳体操
- ・毎月の健康イベント
- ・健康づくりジム
- ・スポーツ大会



～芦田の未来を描く「ドラえもん会議」～

芦田のこれからの未来を描くために、みんなで自由楽しくワイワイ夢を語り合う「ドラえもん会議」を開催しました！

どんな突拍子もないアイデアも「宝物」として、誰かの「あんなこといいな」と別の誰かの「できたらいいな」をどんどん合体させていきました。

付箋いっぱい書き出された夢と、笑顔があふれるテーブル。

一人では想像もできなかったような、ワクワクする芦田の未来の種がたくさん生まれました。





芦田地域のこれからを考えるための 芦田全住民アンケート

集計結果
概要版

平素は、芦田自治振興会の活動にご理解とご協力をたまわりありがとうございます。この度、芦田地域づくり委員会では、地域づくり計画の改定に向けてのアンケートを行ったところ、786人からの回答が集まりました。芦田地域の将来について、たくさんの方が住みよい芦田にしていきたいと思われている結果だと思います。ぜひご家族の皆さんでご覧いただき、話題にいただけたらと思います。

実施時期	2024年7月20日～9月2日 配布用紙またはWEBでの回答	回答者 概要	計786人(回答率:63.6%) ※うちWEB回答は124人
対象者	年齢:小学生以上の個人 居住地:不問 ※現在芦田地域に居住がない方でも、以前住んでいた方や 2拠点居住者も回答可能なアンケートです。		東芦田:301人 田井縄:71人 栗住野:79人 西芦田:171人 口塩久:88人 地域外:34人 無回答:42人
集計分析	集計:芦田地域づくり委員会・芦田集学校 分析:丹波市市民活動支援センター		男379人:女367人:無回答40人

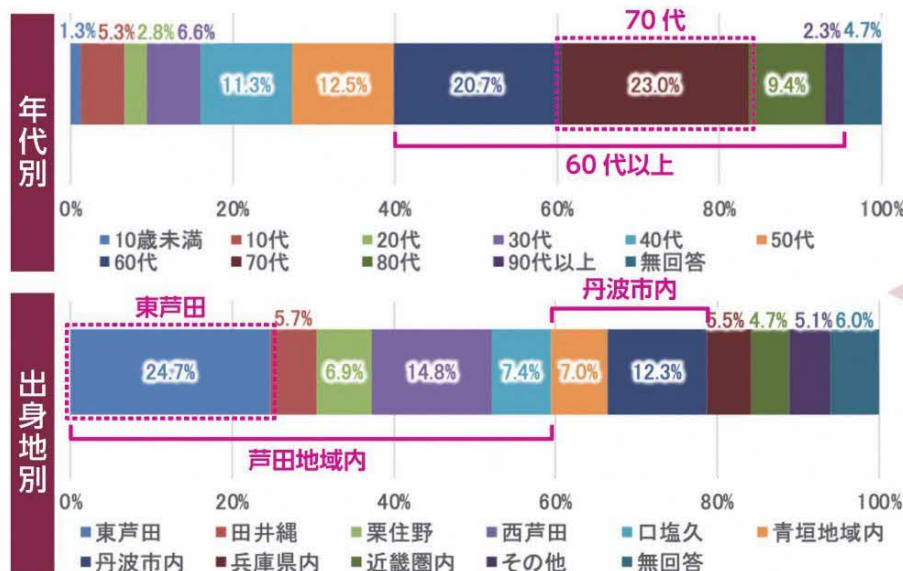


実施主体:芦田自治振興会

1: あなたのことを教えてください

回答者数=786人

回答者の半数以上が60代以上の方となっており、特に70代の方の回答が多く集まりました。また回答者の6割が芦田地域内の出身者で、2割が丹波市内の出身者でした。



地域づくり委員会からのコメント

- ・10代の若い方から長年この地域に住まれている方まで、たくさんのご意見をいただきました。地域への愛着が深いことが伝わってきます!
- ・特に60代、70代の方から多くの回答をいただきました。これは豊かな経験や知恵が活かされる貴重な回答だと感じています。これからの芦田地域のまちづくりを考える上で大変心強いです!

2: 芦田自治振興会を知っていますか? (年代別)

個別の回答者数=項目右記の(括弧)内の数値
回答者数=786人

「10歳未満～10代」の6割の方が芦田自治振興会を「知らない」に回答していました。また、「20～30代」は芦田自治振興会を聞いたことがあるものの、内容まではわからない方が多く、「知っている」方は3割ほどでした。



地域づくり委員会からのコメント

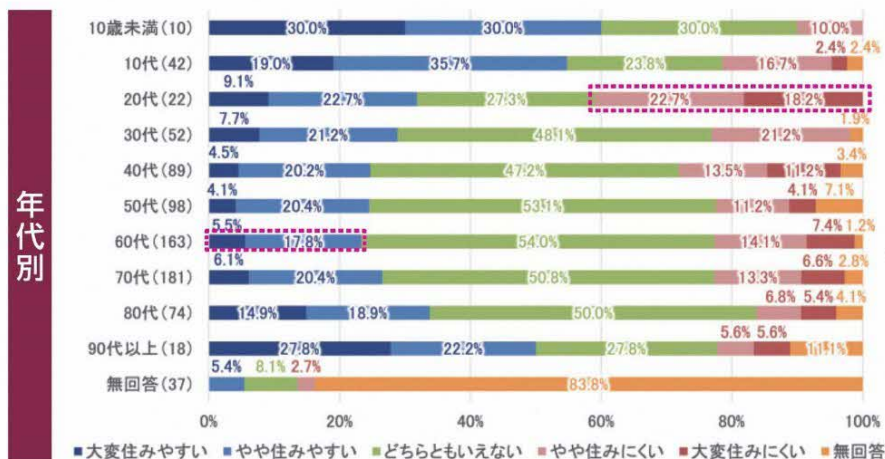
- ・この結果報告書を読んでくださった方には芦田自治振興会について知っていただけたと思います。
- ・これを機にご近所の方やご友人と芦田自治振興会のイベントにも参加し、芦田自治振興会のことを、更に知ってくださると嬉しいです。

新しい地域づくり計画を作る上で、芦田地域の「住みやすさとは何か？」を明らかにするために、アンケートを実施しました。結果は、みなさんの率直な気持ちが表れていると思います。「住みやすさ」に正解はありません。人によって、ネガティブに見ることもあれば、ポジティブに見ることもできます。

3：芦田地域の住みやすさについて

個別の回答者数＝項目右記の（括弧）内の数値
回答者数＝786人

「20代」の4割の方が芦田地域は「住みにくい」と回答していました。また、「60代」の方は芦田地域が「住みやすい」と回答した方は少なく、2割ほどでした。

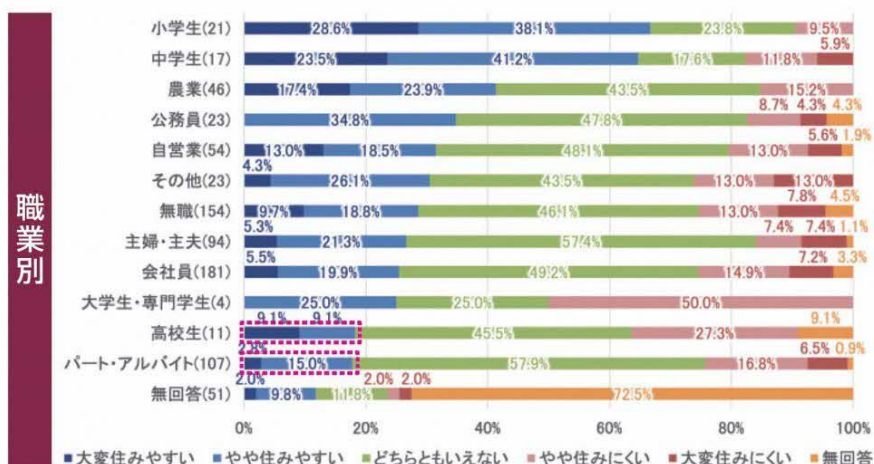


地域づくり委員会からのコメント

- ・「20代」の住みやすさが低いです。が、「10歳未満～10代」はあまり低くないようです。
- ・年齢とともに行動範囲が広がるにつれ、それに合う移動手段がなく暮らしにくいと感じているのかもしれない。



「高校生」や「パート・アルバイト」の方は2割しか「住みやすい」に回答しておらず、住みやすさが低いことがわかりました。また、「小学生」や「中学生」の6割半が「住みやすい」に回答していました。

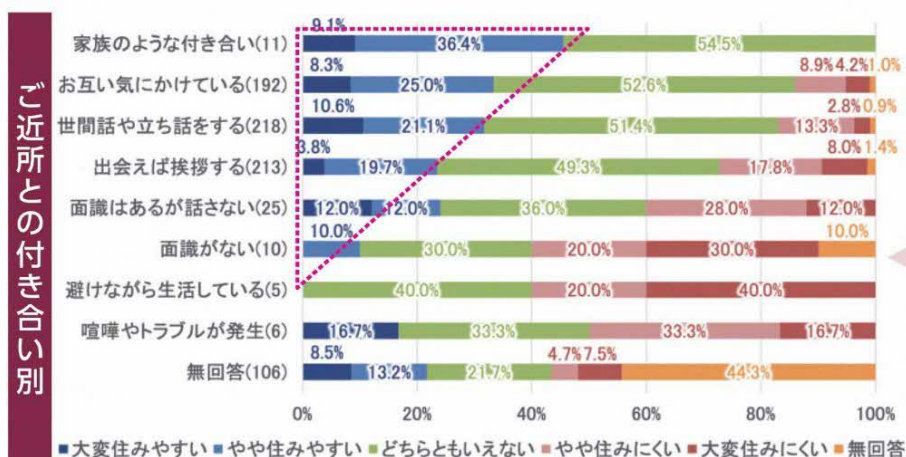


地域づくり委員会からのコメント

- ・「小学生」と「中学生」の方は芦田地域が住みやすいと答えています。
- ・「高校生」の方が住みにくいと感じているのはなぜでしょうか。



ご近所との付き合いが親密なほど住みやすく、疎遠やトラブルで住みにくい傾向があるようです。



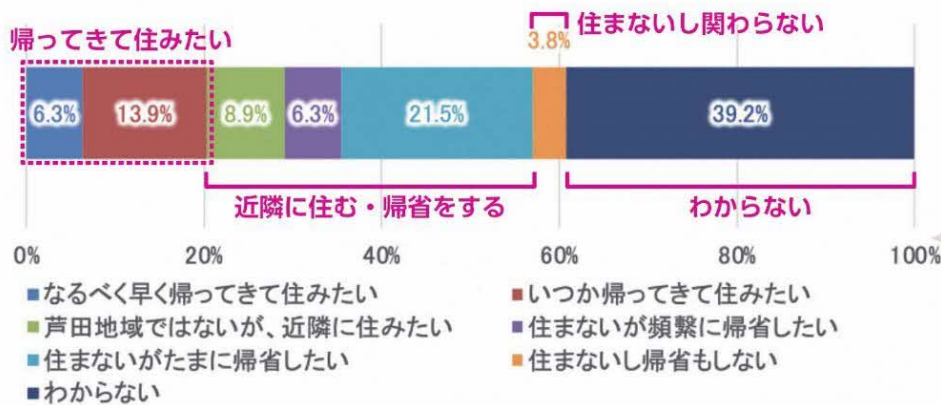
地域づくり委員会からのコメント

- ・田舎の良いご近所付き合いができています。
- ・みんなの近所付き合いが「家族のような付き合い」になれば住みやすくなりそうですね。



4：【将来芦田地域を出る予定の方限定】帰郷意向

2割の方は「帰ってきて住む」意向であり、4割の方は芦田地域には住まないが「関わり続ける」意向でした。

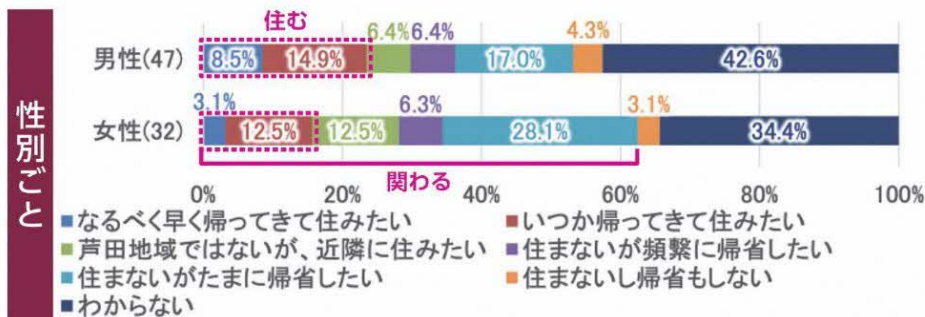


地域づくり委員会からのコメント

・芦田に住まない人も「帰省する」への回答が多く、どこに住んでいても実家を大切にされているようです。今住んでいるみなさんが健康に暮らせるのが良いですね。



「男性」の方が「帰ってきて住む」意向が高く、「女性」の方が芦田地域には住まないが「関わり続ける」意向が高いことがわかりました。



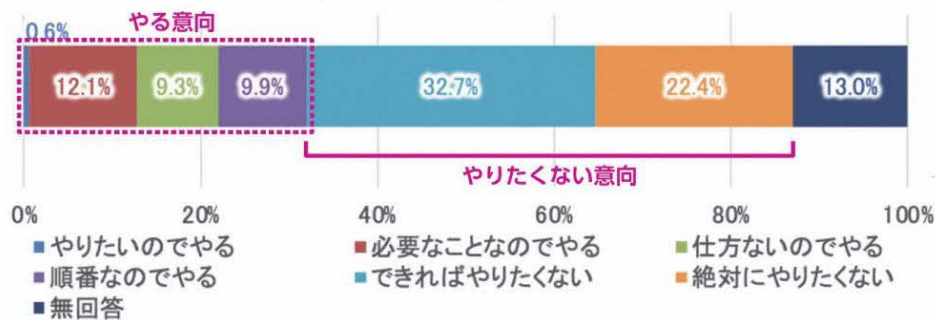
地域づくり委員会からのコメント

・男性と比べ女性を見ると、「帰ってきて住みたい」という意向は男性より低いですが、「住まないが関わりたい」という意向は男性より高くなっています。不思議ですね。

5：自治会や振興会の役をやることについて

回答者数=786人

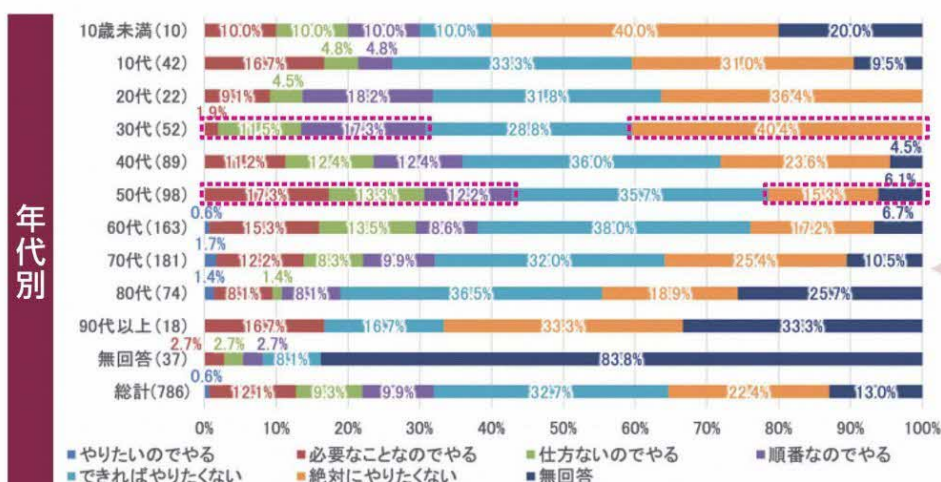
3割半の方は「やる」意向であり、5割半の方は「やりたくない」意向でした。特に前向きな「やりたいのでやる」「必要なことなのでやる」方は全体の1割を超えていました。



地域づくり委員会からのコメント

・「やる」意向は実数で約200人いました。特に前向きに役をしてくださっている方は、7人に1人いるようです。
・「やりたくない」意向でも役をしてくださっている方もおられるようです。

「30代」の方は役をやる意向が低く、4割の方が「絶対にやりたくない」へ回答していました。「50代」の方は役をやる意向が高く、4割の方に役を「やる」意向がありました。



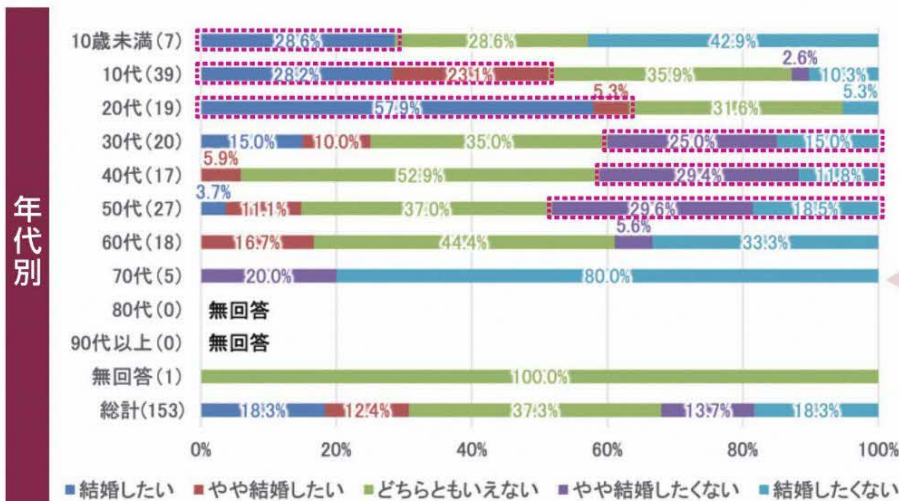
地域づくり委員会からのコメント

・30代は夜の会議に出にくく、責任を感じにくいかもしれません。
・50代は子育てが終わり、そろそろ役を始める頃。50代の意向が高いのは嬉しいので、良いようにバトンを渡したいですね。
・「やりたくない」と回答した方から役の必要性や見直しをどう考えているかご意見をお聞きしてみたいです。

6：【現在結婚していない方限定】結婚意向

※現在結婚していない方のみ
回答者数＝153人

現在結婚していない方に、結婚をしたいかを聞きました。年代別に見ると「20代」の6割は「結婚したい」意向でした。「30代以降」になると「結婚したくない」意向が高くなっています。



地域づくり委員会からのコメント

- ・20代の多くの方が結婚に対して関心を持っていることがわかりますね。
- ・30代になると、いろんな事を考えて、選択肢が分かれたのでしょうか。
- ・どの世代の意識も人生の豊かさを追求するための大切な視点ですね。
- ・いろいろな考えの人が自分らしく暮らせる芦田がいいですね！

7：最後に伝えたいこと・言いたいこと（自由記述）のまとめ

自由記述では「世代交代も大切ですが時代の先を読み地域の実情を把握できる人を育てることが大切かと思います」、「私は移り住んで来た者ですが、情報がないと感じています。どこに情報があるのかわかりません。地域の行事に参加しても、何者かわからないので知り合いになろうとしません。」などの意見が集まりました。様々な意見がありましたが、大きく分類すると、下記の6つのテーマがあげられていました。



全てのアンケート結果は右記 QR コード（ウェブサイト）から、または芦田自治振興会でも結果を保管しておりますのでお問い合わせください。

全集計結果は
こちらから→
<https://qr.paps.jp/iVArr>



今後の取り組みについて

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。皆さんからいただいた貴重なご意見とアンケート結果は今後の芦田地域の地域づくりにつなげていきます。具体的には、2025年度にかけて、「地域づくり計画」の改定を、地域づくり委員会が取りまとめて進めていきます。

ついては、個別に話し合いの場や、具体的なアイデアを出し合うことなど、今後皆さんの声をお聞きする機会を更に増やしたいと思いますので、ぜひご参加ください。

新しい地域づくり計画は2026年4月からスタートしたいと考えていますので、さらなるご協力をよろしくお願いします。

